

授業と評価の年間計画

教科	地理歴史	科目	日本史B	
履修条件 対象生徒	選択 普通科・理数科 3年			
学習目標	わが国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察し、わが国の文化と伝統の特色についての理解を深めることによって歴史的思考力を養い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を身に付ける。			
学習方法	<p>【授業】 教科書（山川出版社）と授業プリントを核に授業を展開する。単に歴史用語を暗記するのではなく、歴史の流れの把握や歴史的意義の理解が重要である。</p> <p>【家庭】 教科書の授業範囲にしっかり目を通すこと。授業中によくわからなかった事項については図説・用語集などで確認し、理解する。模試や過去問を十分に活用する。</p> <p>【補習・その他】 補習は授業を進める。グレードアップセミナーでは問題演習等を行う。</p>			
学習計画と	1 1学期 (1)中間考査まで ア 幕藩体制の展開 イ 幕藩体制の動揺 (2)期末考査まで ア 近代国家の成立	<ul style="list-style-type: none"> 元禄文化の成立とその特徴を理解する。 列強の開国要求と幕府の衰退について理解する。 宝暦・天明期の文化と化政文化の成立、その特徴を理解する。 列強の東アジア進出と、条約締結について理解する。 新政府の成立過程と諸政策を理解する。 日露戦争の経過を理解する。 資本主義の成立と発展について理解する。 近代日本の文化形成について理解する。 		
	2 2学期 (1)中間考査まで ア 近代日本とアジア (2)期末考査まで ア 占領下の日本 イ 高度成長の時代 ウ 激動する世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> 大戦への参加が与えた影響を理解する。 大衆文化の登場について理解する。 金融恐慌への対応について理解する。 ファシズム体制の成立過程を理解する。 太平洋戦争の開戦、過程を理解する。 戦後の民主化推進について理解する。 東西対立と東アジア情勢を考察し、日本に及ぼした影響を理解する。 保守長期政権の成立と国際関係について理解し、経済成長政策が国民の生活水準を向上させたことを理解する。 		
	3 3学期 (1)学年末まで ア センター試験問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 大学入試センター試験の過去問を解き、問題の傾向に慣れる。 		
評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めるとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断する。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立って総合的に理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	定期考査や課題テストなどの成績を重視するが、授業における課題等の提出状況や出欠状況、授業態度も含め、総合的に判断して評価する。			
その他	センター試験では、単に歴史用語を暗記するだけではその対応は不十分であり、歴史の流れや歴史上の意義を理解していなければならない。そのため、図説の写真や地図、教科書の脚注や史料にも注意を払わなければならない。			